東京民医連
東北地方太平洋沖地震
支援ニュース

2011年3月14日
No.12 21:00
発行：東京民医連事務局
電話：03-5978-2741
FAX：03-5978-2865
メール：
soumu@tokyominiren.gr.jp

宮城民医連：現地情報　患者、長蛇の列

１２日に東京を出て宮城民医連坂総合病院にて支援活動をしていた原さんが戻ってきました。現地の状況は刻一刻と変わっているようです。

【いくつか原氏からのアドバイス】⇒災害支援の準備№.２もあわせてご覧ください。

給油は出来る所で常に満タンにするつもりでいること

あらゆる場面で警察許可証は役に立ちます（緊急車両ということで給油ができることもあります）

支援の方は寝袋やマットレス持参必須　食事は自分用の非常食を必ず持参する

短いスパンでの支援（２泊３日程度）で行わないと支援者が疲弊します

【3.13】立川、川崎、兵庫、奈良、埼玉、汐田など続々と民医連の支援が入る。

【3.13PM】東葛、みさと健和(東都協議会)、群馬、鳥取、大阪などが加わる。

支援に入った医師看護師を中心に避難所まわりをしています。しかし、大きい所では 2500 人が避難しています。

【3.13　23 時半】クリニックはずっと停電だったのが、明かりがつき電気が復旧。

【3.14】電気は復旧しましたが、水道はまだ。坂はタンクがあるのでまだまし。公衆電話もまだ通じません。携帯は電波が立つようにはなりましたが、非常につながりにくい状態が続いています。

支援の医師看護師は引き続き避難所対応と在宅まわりに出発。

原はトリアージポストに立ちます。薬がなくなった、薬が流された、予約外来、といった方々が 9 時以降に続々と集まってきました。騒然とした雰囲気です。救急車のナンバープレートをみると長野・広島など全国各地からきていました。

この午前中に原は初めて「黒」のトリアージをしました。被害状況が明らかになるにつれ(つまり、今まで手がついていなかった地域にも救急や自衛隊が入るようになると)、シビアな方々が増えてくるのかも知れません。トリアージの通しナンバーは 600 後半になりました。

立川相互病院意思統一

14日患者さん長蛇

宮城民医連坂総合病院に支援次々と。

王子、小豆沢 15 日、中野 16 日、東京健生 18 日予定。
各法人・事業所、支援第２陣の組織を進める。

東京民医連内でも支援隊の準備が次々と進んでいます。王子は今泉医師、乾看護師はじめ 5 名が 15 日に現地にむけて出発します。小豆沢は吉川医師他数名で 15 日に出発。16 日には中野が 4 名を予定しています。